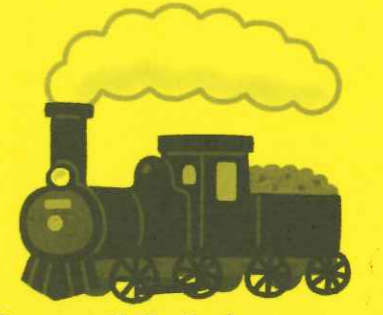


ここは茶処 北五和の郷
 「高福神」 高熊・福用・神尾
 神尾駅・福用駅周辺部
 名所・旧跡マップ

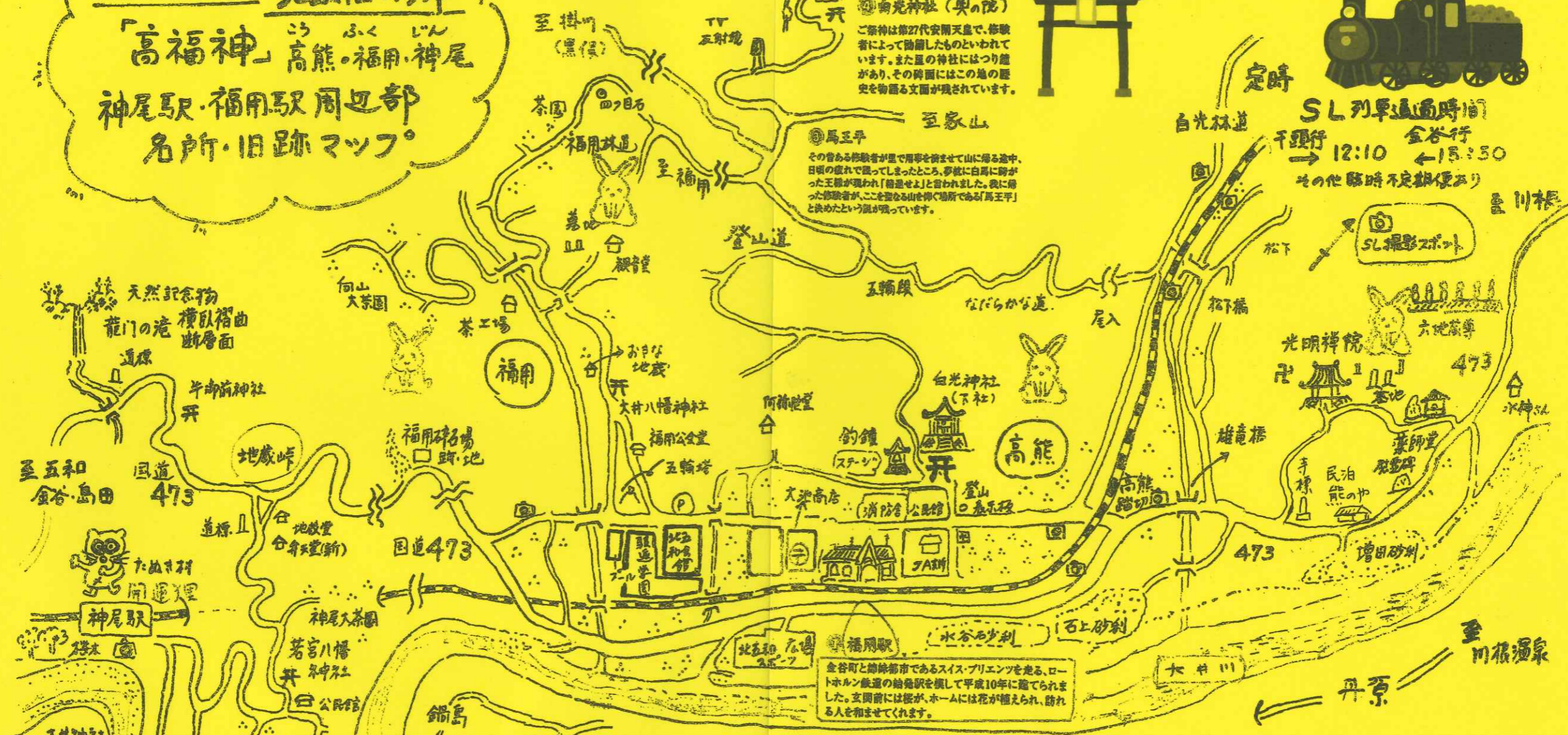
⑧八高山
 金谷町と新川市の境にそびえる八高山は、標高832m。山頂からの眺めは素晴らしい。北東には下に大井川、遙くに富士山や南アルプスの山々が、西側には小笠山や浜松のアクアタワーが望めます。

⑨白光神社(奥の院)
 ご祭神は第27代安閑天皇で、修験者によって勧請したものといわれています。また皇の神社にはつり籠があり、その隣にはこの地の歴史を物語る文面が残されています。

⑩馬王平
 その昔ある修験者が里で用事を済ませて山に帰る途中、日頃の疲れで眠ってしまったところ、夢中に白馬に跨がった王様が現われ「静養せよ」と言われました。後に帰った修験者が、ここを聖なる山を仰ぐ場所である「馬王平」と決めたという説が残っています。



定時
 SL列車通過時間
 干頸行 → 12:10
 金谷行 ← 15:50
 その他臨時不定期便あり



＜神尾＞

神尾山(551M)の麓根は天王洞があったとの記録。10月の秋祭には若宮八幡宮で恒例の鑽火(くわ)の神事を地元民が行なう。地蔵峠は香川根街道を往來する名や鹿民が休憩したところ。今地蔵峠と天王堂がある。神尾駅には理研大井川河川には竹林や幸島部は横臥褶曲断層地帯が見られる。

＜福用＞

昔約1200年前に中国籍回から多くの渡来人が日本に渡り多くの文化技術を伝えた。その中の福代氏(秦一族)がこの地を開いたとされる。大昔大規模な山津波により大被害を受けたともいわれる。大井八幡神社の歴史は古く「西餅」(2003)神様が居る。福祉施設「難学学園」で生徒の学習中

＜高熊＞

大井川の水流が湾曲して川といふ五限(ごげん)とよむ地名を現わす。又記録では平安朝期「清駒」(たかこ)の文庫にもある。八高山(832M)は年間約1000人が登山する。江戸時代(享保4年(1719))村人が清納した釣鐘は戦時中没出された。昭和52年降霖し現在下の白光神社にある。昭和35年白光川氾濫で被害を受けた。

制作 30.9.10
 鈴木誠
 46-4088